

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	香川県生活研究グループ連絡協議会	
取組	(2) 地域の女性グループの活動支援	
構成員数	543 人 (うち、女性の人数: 543 人)	(令和 4 年 3 月時点)

1 事業実施方針

<グループの概要>

・ 香川県生活研究グループ連絡協議会は、会員相互の連携活動により農山漁村について望ましい経営や働き方及びゆとりある生活の研究、知識・技術等の情報交換を行い、男女がともに参画する、豊かで活力ある地域社会の実現および農林漁業の振興に資することを目的として昭和 31 年に結成され、時代にあった活動を続けてきた。

・ 現在は 3 地区 43 グループ、543 名の構成員で成り立っている。活動を進める中で農村女性リーダーの育成や食育実践活動、食文化の伝承活動などを続け、農村地域の暮らしと女性の地位向上などに努めてきたが、現在、グループ員の高齢化、またコロナ禍において活動が停滞していることから、脱退や解散も多く、5 年前と比較すると、グループ数は約 6 割、グループ員数は約 5 割となっており、年々減少している。

<県内農業の課題>

・ 本県の農業従事者は減少に歯止めがかかっておらず、特に、基幹的農業従事者のうち女性が占める割合は、平成 12 年は 48.0%と全国平均 (47.5%) より高かったが、令和 2 年では 37.8%と全国平均 (39.7%) を下回っており、女性の農業離れが進んでいる。農業経営においては、女性ならではの視点により農産物の加工・販売等で雇用創出や所得確保に貢献するなど、女性は重要な役割を果たしており、今後も農業に従事する女性を確保・拡大していくことが課題となっている。

・ また、農業者が営農活動を続けるにあたり、鳥獣被害も大きな問題である。鳥獣被害は収益の減少を招くばかりか、農業に取り組む人々のやる気を削ぐ結果につながりかねない。

各種対策が進められたことにより、平成 22 年をピークとして近年では被害が一定に抑えられているものの、捕獲頭数は増加しており (H27: 4,683 頭→R2: 12,994 頭)、捕獲個体の処分にも苦慮している。高齢化による離農や耕作放棄地の増加により、現在設置されている柵などを管理する人が減少していくことが想定されることから、今後、被害が拡大する可能性も考えられる。

<グループとしての課題>

・ 自らが主体的に農業経営を志向し農業を職業として選択する女性が現れ、若手女性農業者どうしの新たなネットワークも形成される一方で、生活様式の変化に伴い多様な過ごし方が増えてきたことから、従来の活動だけでは既存の生活研究グループへの加入は期待できない状況にある。

・ 今日まで農村生活を支えてきた女性たちの技術や知識を継承することが、香川県の農村で培わ

れてきた地域伝統や文化を守り、県民の豊かな暮らしにつながることから、次世代の女性農業者を、これまでと異なるアプローチ方法により確保していくことが必要である。

#### <今後実施する取組み 『鳥獣対策×女性』>

- ・ 香川県で農業を続けるうえで重要課題の一つとなっている「鳥獣被害」について、従来は男性が主として狩猟、柵の設置や管理について取り組んできたところであるが、今後は女性も正しい知識を身に付け、男性と一緒にになって対策に取り組み、田畑や農作物、農村環境を守る。
- ・ さらに、生活研究グループ員が強みとしてきた「料理」を組み合わせることで、女性農業者も鳥獣被害から地域資源（農地）を守り、さらには鳥獣を地域資源（ジビエ）として積極的に有効活用する、といった取組みを進める。
- ・ 取組みの動画を Web 配信するほか、新たに作成するジビエレシピ等の冊子を女性グループ、市町や JA 等の関係機関はもとより、近県の生活研究グループにも配布し、鳥獣の有効活用を広域に波及させる。
- ・ 「鳥獣害を増やさない」「資源の有効活用」「農地・農村を自ら守る」といった活動を通じて同じ目的意識を持つ仲間を増やし、女性農業者の新規確保につなげる。

#### <具体的な取組計画>

##### 【学ぶ】

- ・ 野生鳥獣の生態や、出現・捕獲状況、農作物被害状況、侵入防止柵の設置方法など基本的対策技術を習得するための研修を行う。
- ・ 県外のジビエ活用事例等について、先進地視察調査を行う。

##### 【生み出す】

- ・ 得意分野、知識を生かした、ジビエ料理の新メニュー開発に取り組む。
- ・ 取組みを通じて、新たな人とのつながりを作る。

##### 【広める】

- ・ 開発したレシピを発表する場を設け、活動のPRを行う。
- ・ 鳥獣害対策や活用方法について、女性農業者等に周知する。

(注) 具体的に記載してください。

## 2 女性就農環境改善に向けた実施体制

【香川県生活研究グループ連絡協議会（県連）】 ※事務局：香川県農業経営課

役員 5 名：会長、副会長、理事、監事 2 名

以下、3 地区（東讃地区、小豆地区、中讃地区）の連絡協議会から構成。

※地区連絡協議会事務局：各地区所管農業改良普及センター

地区連絡協議会はさらに各市町の連絡協議会で構成されており、全員で 43 グループ 543 名。

女性就農環境改善に向け、県単位、地区単位、市町単位、グループ単位で役割分担などを行い活動を進める。

【企画委員会】 事業の詳細な実施について計画。役員 5 名＋事務局で構成。

【調整班】 計画の円滑な実行に向け調整。各地区連絡協議会役員（約 20 名）

【サポート】 農業経営課（鳥獣害担当、女性活躍担当、新規就農担当）、みどり保全課、鳥獣活用の先進的取組者等

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

### 3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

#### (1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組) ・役員を中心に、就農希望者の研修を受け入れて農業技術等を指導。		
(今後実施する取組) ・グループ活動や農業の魅力についてのPRを行い、仲間を募集。	新規グループ員8名 リーフレット作成1回	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

#### (2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組) ・農村女性等リーダー研修会	年2回程度(令和2、3年度はコロナ禍により1回の開催)	
(今後実施する取組) ・地域の女性農業者の相談役としての活動強化	研修会1回	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

#### (3) 女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組) ・地域の女性グループ研修 (令和3年度女性が変わる未来の農業推進事業を活用し、自らの活動について振り返り)	4回実施 (2021年10月、12月 2021年1月、2月) 活動・組織の強み・弱み、共通目標を検討して共有。	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育活動や郷土料理の伝承に係る活動</li> <li>・男女共同参画活動への参加 (各種審議会、協議会での委員、農業委員への女性登用等の取組)</li> </ul> <p>(今後実施する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣被害防止対策や活用事例等を学ぶための研修会と先進地視察</li> <li>・地域の食材とジビエを活用したメニューの新規開発、レシピ作成</li> </ul>	<p>各地区単位で開催(年4～7回程度)</p> <p>審議会・協議会委員4名 農業委員4名</p> <p>研修会1回(6月下旬) 先進地視察1回(8月下旬)</p> <p>ジビエレシピ3種 (検討6月～11月)</p>	
---	--	--

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

#### 4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

##### (1) 働きやすい環境整備への支援

###### 【計画内容】

時期	内容(対象者・方法等)	備考
—	—	

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(1)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

##### (2) 地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	鳥獣に関する基本的知識の不足。
②	鳥獣害の増加を食い止め、活用し、地域資源として有効活用できる女性の確保、育成
③	基幹的女性農業従事者、グループ員の確保と活動PR

【課題解決のための補助事業（概要）】※課題番号に対応するように記入ください。

①	鳥獣害、ジビエ活用に対する基本的知識を習得する研修会開催（共催）
②	ジビエを活用している県外先進地の視察研修
②	地域の食材とジビエを活用したメニューの新規開発、レシピ作成
③	ジビエレシピ発表会、Web 配信用動画作成
③	ジビエレシピと4年度の活動について冊子を作成し、関係機関へ周知、PR

【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	鳥獣害の基本的知識を活かし、自らで地域を守り、資源を有効活用する意識を醸成する。ジビエを活用してみたいと考える女性農業者を増加させる。
②	県外視察において、ジビエの調理方法について優良事例を学び、今後のメニュー開発の参考とする。
②	家庭でも作れるメニューの開発（3種）を行うことで、地域住民へジビエを身近に感じてもらえるようになり、地産地消の意識づけができる。
③	ジビエレシピ発表会イベントを通して、地域間の交流を深めるとともに、イベント動画を作成し、今後 Web 配信を行うことにより、これまで接点のなかった若い世代に対してグループのPRを行う。
③	女性の活躍例として、鳥獣の活用を地域女性や他県グループ員に波及させる。活動に興味を持つ女性の掘り起こしを行い、グループの仲間を増やす。（令和4年度末4名、5年度末4名）

【事業内容（詳細）】

課題番号	時期	グループ活動内容（対象者・方法等）	事業実施経費（費目、金額）	備考
①	2022年6月	県農村女性リーダー研修会 対象：グループ員、女性農業士等女性リーダー、またジビエの活用に興味を持つ女性 約90名 講師：県農業革新支援専門員 1名 県内鳥獣活用の先進的取組者（女性ハンター） 1名 内容：県内鳥獣害の知識と基本対策、これまでの活動等体験談、活用方法等事例紹介）	本研修は香川県主催のため、会場借料、講師謝金は県費を使用する。 （当補助金からの支出なし） 通信運搬費 3,284円	県費支払い部分については積算根拠資料の添付なし
②	2022年8月	県外先進地視察（高知県香美市） 対象：グループ員約25名 講師：県外鳥獣活用の先進的取組者 内容：ジビエ料理の特徴、調理方法について、工夫や事例を学ぶ。	謝金 33,000円 使用料及び借用料 127,837円	

②	2022年 6月～11月	地域の食材とジビエを活用したメニューの検討、レシピ作成 対象：各地区グループ員	消耗品費 68,264円 通信運搬費 7,473円	
③	2022年12月	ジビエレシピ発表会、動画撮影 対象：各地区グループ員代表者 内容：公共の調理室にて、開発レシピに沿った調理、完成品撮影、試食会 動画作成（撮影・編集作業委託）	会議費 24,928円 消耗品費 37,000円 委託費 90,000円	
③	2023年2月	グループ活動、ジビエレシピ紹介冊子作成 配布先：グループ員、県内各JA、各市町農業主務課、近県生活研究グループ等	印刷製本費 90,000円 通信運搬費 22,200円	

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

#### 5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	8 人
(新規確保女性農業者の内訳)	
自営農業就業者 4人、雇用就農者	人、アルバイト・ボランティア等 4人

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間30日以上の方とします。  
農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。